

西区地域版防災マップ

- 【凡例】**
- 避難経路
 - 消 消火栓
 - AED AED設置施設
 - 車両通行不可
 - × 危険箇所
 - 防火水槽
 - 防災倉庫
 - 食料調達
 - 階段
 - フラット
 - 水道
 - 井戸
 - 公衆電話
 - トイレ
- ※凡例に記載されていても地区内にない場合があります

避難の方法

避難所へ避難する場合

- 1 車は使わず、歩いて避難しましょう。
- 2 川沿いや橋、がけ下などは危険ですので、近くを通らないでください。
- 3 動きやすい服装で、2人以上で避難しましょう。
- 4 外に出る前に火の始末、戸締りを忘れずに、電気のブレーカーも落としましょう。

屋内で避難する場合

- 水害の場合
周りで浸水が始まった時は近くの高所や建物の2階以上に避難しましょう。
- 土砂災害の場合
家の中で2階のかけ、山から離れた部屋に避難する、または寝室とする。

ポイント
避難、浸水が始まった時は、足元が見えず危険です。

ポイント
土砂災害の犠牲者の多くは1階で被災

平成21年台風9号の際に激しい降雨と浸水の中での避難中の被災事例から、状況に応じて、小・中学校等の避難所への避難だけでなく、屋内での垂直避難も有効であります。

我が家の緊急避難場所

我が家の避難のタイミング

連絡先	電話番号

☆地震が起こったら(三田市HP)

- 1 まず、身の安全を!
- 2 あわてず火の始末を!(揺れている途中に火を消そうとすると危険です。)
- 3 出口の確保と落ち着いた行動を!
- 4 火が出たら、すばやく消火!
- 5 山崩れ、がけ崩れに注意!
- 6 狭い道や橋、川べりは避ける!
- 7 荷物は最小限に、避難は徒歩で!
- 8 正確な情報をキャッチする!
- 9 皆が協力し、応急救護を!

緊急連絡先

三田市災害対策本部(市役所)
TEL 563-1111

消防署(火災・救急)
TEL 119

落ちついて火の元確認 初期消火

火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてず火の始末をする。消火の元を確認し、落ちついて消火する。

あわてた行動 けがのもと

室内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。

誰かめあう わが家の安全確認

わが家の安全を確認後、近隣の安全を確認する。

避難の前に 安全確認 電気・ガス

避難が必要な時は、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

非常持ち出し品(避難する時に持ち出すもの)

- 防災用品: 防災服、入浴剤、避難靴、懐中電灯、携帯ラジオ、モバイル充電器、モバイルバッテリー、モバイル電源、モバイル電源、モバイル電源
- 現金(小銭が豊富)
- 貴重品

備蓄品(避難生活に備えて家などに蓄えておくもの)

3日以上以上の備蓄は必要!

- 飲料水: 1人1日3リットル分の飲料水(常温)を3日以上蓄えておく
- 飲料: 1人1日3リットル分の飲料水(常温)を3日以上蓄えておく
- 食料: 1人1日3リットル分の飲料水(常温)を3日以上蓄えておく
- 衛生用品: 衛生用品、衛生用品、衛生用品
- 医薬品: 医薬品、医薬品、医薬品
- 日用品: 日用品、日用品、日用品

こんなときは赤信号 土砂災害の前ぶれ

大雨のときは地盤がゆるみ、土砂災害の危険性も高まります。次のような状態に気づいたら、すみやかに避難しましょう。また、市役所に通報してください。(TEL:563-1111)

- 1 けがれが落ちる。けがれから小石が落ちてくる。
- 2 川が濁ったり、流木がまがりはじめる。
- 3 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 4 斜面から水が噴き出る。がけからでる水が流る。
- 5 斜面にひび割れができる。
- 6 地鳴りの音が聞こえてくる。

地震だ! まず身の安全

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が落ちてこない「倒れてこない」行動してこない空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

【高層階(概ね10階以上)での注意点】

- 高層階では、揺れが数分続くことがある。
- 大きく揺れたりした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。

雨の強さと降り方(1時間降雨量)

20~30mm未満	30~50mm未満	50~80mm未満	80mm以上
強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
どのくらいの雨、何をさしていても大丈夫。小川が溢れ、川が濁る。小川が溢れ、川が濁る。小川が溢れ、川が濁る。	激しい雨、山崩れ、がけ崩れが起きやすくなる。大雨が降ると、土砂災害の危険性が高まる。	激しい雨、山崩れ、がけ崩れが起きやすくなる。大雨が降ると、土砂災害の危険性が高まる。	激しい雨、山崩れ、がけ崩れが起きやすくなる。大雨が降ると、土砂災害の危険性が高まる。

◆防災情報の入手方法 ~情報は積極的に入手して行動しましょう!~

- テレビ、ラジオ、新聞、インターネット
- NHK、サンテレビ、J-COM関西、ハニーエフエム(82.2MHz)等
- 水防信号(サイレン、警鐘) 自治会への連絡
- 広報車、消防団による巡回、アナウンス
- 三田市ホームページ <http://www.city.sanda.lg.jp/>
- さんだ防災・防犯メールによる配信

【災害緊急情報】をご確認ください。

情報を受信するには事前登録が必要です。今すぐ登録しましょう! <http://bosai.net/sanda/>

※情報を入手しにくい方は家族や近所の方が声をかけましょう。
※ハニーエフエム(82.2MHz)では防災情報の他、有事情報(テロ、ミサイル攻撃)を入手できます。

